

めぐみイエス・キリスト教会

2024年6月9日(日)第二主日礼拝

午前10時より

週報「通算第710号」



2024年標題聖句

マタイの福音書第6章33節

《まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】		
【賛美Ⅰ】	新聖歌355「主と共に歩む」	p. 568
【交読文】	No.43 詩篇第136篇	p. 913
【賛美Ⅱ】	新聖歌202「一度死にしわれをも」	p. 302
【使徒信条】		
【主の祈り】		
【先週説教】		
【賛美Ⅲ】	オリジナル曲「主の御前に」	
【聖書朗読】	ルカの福音書5章27節～32節(新約p. 119)	
【礼拝説教】	《取税人レビの召命》	
【聖餐式】		
【賛美Ⅳ】	新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」	p. 236
【平和祈り】		
【頌 栄】	新聖歌63 「父・御子・御霊の」	p. 85
【祝祷後奏】		

※本日の聖書箇所(ルカの福音書5章27節～32節)

5:27 その後、イエスは出て行き、収税所に座っているレビという取税人に目を留められた。そして「私について来なさい」と言われた。

5:28 するとレビは、すべてを捨てて立ち上がり、イエスに従った。

5:29 それからレビは、自分の家でイエスのために盛大なもてなしをした。取税人たちやほかの人たちが大勢、ともに食卓に着いていた。

5:30 すると、パリサイ人たちや彼らのうちの律法学者たちが、イエスの弟子たちに向かって小声で文句を言った。「なぜあなたがたは、取税人たちや罪人たちと一緒に食べたり飲んだりするのですか。」

5:31 そこでイエスは彼らに答えられた。「医者が必要とするのは、健康な人ではなく病人です。」

5:32 私が来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためです。」

●ポイント1.「共観福音書における平行記事」から

※マルコの福音書2章14節～15節「アルパヨの子レビ」 (新約p.68)

2:14 イエスは道を通りながら、アルパヨの子レビが収税所に座っているのを見て、「私について来なさい」と言われた。すると、彼は立ち上がってイエスに従った。

2:15 それからイエスは、レビの家で食卓に着かれた。取税人たちや罪人たちも大勢、イエスや弟子たちとともに食卓に着いていた。大勢の人々がいて、イエスに従っていたのである。

●ポイント2.「十二使徒の任命」から

※マルコの福音書3章16節～19節「イエスは山に登り」 (新約p.176)

3:16 こうしてイエスは十二人を任命された。シモンにはペテロという名をつけ、

3:17 ゼベダイの子ヤコブと、ヤコブの兄弟ヨハネ、この二人にはボアネルゲ、すなわち、雷の子という名をつけられた。

3:18 さらに、アンデレ、ピリポ、バルトロマイ、マタイ、トマス、アルパヨの子ヤコブ、タダイ、熱心党のシモン、

3:19 イスカリオテのユダを任命された。このユダがイエスを裏切ったのである。

●ポイント3. もう一人の取税人の頭の救い

※ルカの福音書19章1節～10節「エリコにおいて」 (新約p.157上段)

※ヨハネの福音書15章16節「主イエスの言葉から」 (新約p.216下段)

15:16「あなたがたが私を選んだのではなく、私があなたがたを選び、あなたがたを任命しました。それは、あなたがたが行って実を結び、その実が残るようになるため、また、あなたがたが私の名によって父に求めるものをすべて、父が与えてくださるようになるためです。」

◎先週の礼拝メッセージ【中風の人はいやし】

《この奇跡は、シモン・ペテロの家において行なわれました。主イエスが、教えておられると、四人の男たちが、中風の人を寝床に載せて運んで来ました。しかし、大勢の人の為に家の中に入ることが出来ず、屋上に上って瓦をはがし、そこから彼の寝床を、主の前につり降ろしたのです。彼らがしたことは、とんでもないことです。真下にいた主イエスと弟子たちや大勢の人々も、ほこりと土で真っ白になったに違いありません。家主ペテロを始め、誰もが怒りに燃えたはずですが、主だけは違っていたのです。「友よ、あなたの罪は赦された。」

主イエスが、こう言われた理由は、当時のユダヤでは、中風のように体が不自由になったことは、罪の結果と考えられていたからです。

それを聞いた、律法学者やパリサイ人たちは心の中で思います。「神への冒瀆だ。神お一人のほかに、だれが罪を赦せるだろうか。」

主イエスは、すぐに見抜いて、「あなたがたは心の中で何を考えているのか。『あなたの罪は赦された』と言うのと、『起きて歩け』と言うのとどちらが易しいか。しかし、人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたが知るために、『起きなさい。寝床を担いで、家に帰りなさい。』と言われたのです。すると彼はすぐに立ち上がり、寝床を担ぎ、神をあがめながら自分の家に帰って行きました。

どちらが易しいのでしょうか。実は、「あなたの罪は赦された」と言う方が、癒やされることよりも、遙かに難しいことなのです。中風が癒やされた事は、大いなる奇跡です。しかし、人が救われることは、遙かに偉大な奇跡なのです。それほどに、「あなたの罪が赦された」と言うことは、難しいことなのです。これは、神様にしか出来ないことなのです。この奇跡を、目の当たりに見ながらも、パリサイ人や律法学者たちは、主イエスを信じる事が出来ませんでした。主は、彼らの為にも、また四人の男の人の為にも、この奇跡を成されたのです。》

お知らせ

※次回は6月16日(日)は午前10時から、通常通りに行ないます。